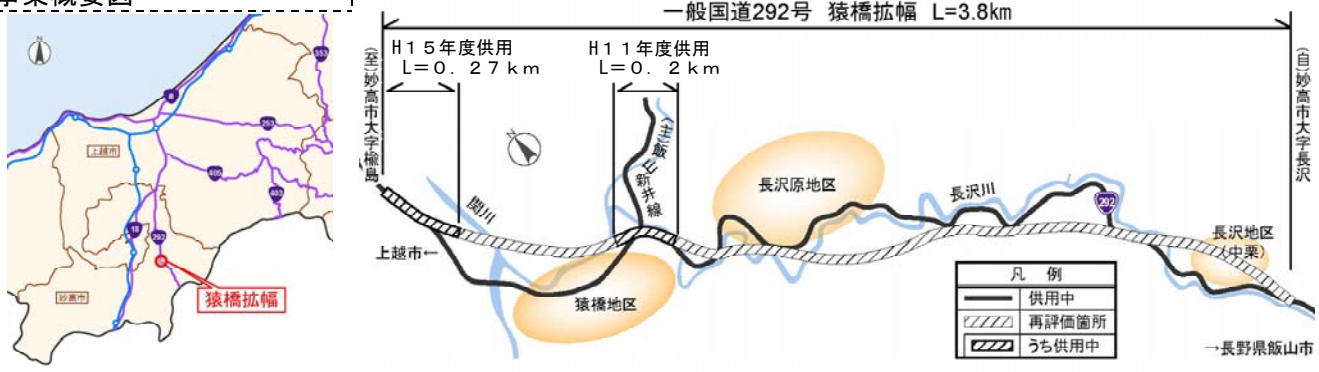


## 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：下保 修

<b>事業名</b> 一般国道292号 <small>さるはし</small> 猿橋拡幅 起終点 自：新潟県妙高市大字楡島 至：新潟県妙高市大字長沢	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 新潟県 <b>延長</b> 3.8km
<b>事業概要</b> 一般国道292号は、群馬県吾妻郡長野原町を起点とし、新潟県妙高市に至る延長約118kmの幹線道路で、国道292号猿橋拡幅は、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長3.8kmの2車線道路である。		
<b>H5年度事業化</b> 都市計画決定なし		<b>H5年度用地着手</b> H6年度工事着手
<b>全体事業費</b> 47億円		<b>事業進捗率</b> 40%
<b>計画交通量</b> 2,000台/日		<b>供用済延長</b> 0.47km
<b>費用対効果分析結果</b> B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 2.5	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 25/51億円 (事業費：22/47億円) (維持管理費：3.5/3.9億円)	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 63/66億円 (走行時間短縮便益：61/64億円) (走行経費減少便益：2.2/2.3億円) (交通事故減少便益：0.09/0.09億円)
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.7(交通量+10%) B/C=2.2(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.3(事業費+10%) B/C=2.7(事業費-10%)		
<b>事業の効果等</b> ・国土地域ネットワークの構築・・・現道における大型車すれ違い困難区間を解消。日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる。 ・安全で安心できるくらしの確保・・・二次医療施設へのアクセス向上が見込まれる。 ・災害への備え・・・近隣市へのルートが一つしかなく、災害による道路寸断で孤立化する集落を解消。第二次緊急輸送道路の位置づけがある。他10項目に該当		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 妙高市は「妙高市公共土木事業整備促進期成同盟会」を結成し、国・県に対して早期整備、供用の積極的な要望活動を行っている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 平成17年4月1日に新井市、妙高高原町、妙高村が合併し、人口3万8千人の妙高市が誕生。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成18年3月までに0.47kmを部分供用している。残事業は、道路改良・橋梁を含め約3.3kmである。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 橋梁などの重要構造物が多く、一部用地買収困難箇所がある。用地交渉を進めながら、事業効果が早期に発現できる箇所を重点実施することで事業進捗を図る。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 特になし		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。